青森バイオマス材料研究会（青森県）

「低炭素社会に向けたアクション」

【事業目的】

県産バイオマス材料を活用した材料及び商品開発を目指している「あおもりバイオマス材料研究会」では、多方面からのより高度な技術情報を収集し、新たなる材料・商品の開発及び事業化につなげることを目的とする。

【事業実施状況、成果】

「あおもりバイオマス材料研究会」

●開催時期：平成22年9月24日（金） 参加者45名
●場　　所：（株）八戸インテリジェントプラザ　アイピーホール
●基調講演：「グリーンニューディール政策と環境産業の展望」
　　東京大学生産技術研究所　名誉教授　山本良一氏

●開催時期：平成22年11月11日（木） 参加者49名
●場　　所：（株）八戸インテリジェントプラザ　アイピーホール
●特別講演：「地球環境保護と先端技術」
　　芝浦工業大学　工学部　副学長　村上雅人氏
　　「日本銀行「裁断紙幣」リサイクル技術および製品化」
　　ﾄｯﾊﾟﾝﾌｫｰﾑｽﾞ㈱企画本部　部長　紀井規子氏

話題提供では、低炭素社会に向けた研究者の研究、成果が提供され、行政、企業の具体的な取組事例が発表された。
「地球環境」の危機的状況については、専門家、学会ばかりではなく世間一般にも広く認識されてきており、行政、企業とも熱心に講演に聞き入っていた。
エコマテリアルの利用実践について、企業では、事業としても関心が高く、技術、材料、商品開発について活発な意見交換がなされた。
これからの課題として、「低酸素社会に向けたエコマテリアルの利用実践」とは、かなり広範囲であり、研究者も専門が分かれているため、もう少しジャンル分けをしながら、企業ニーズに合致した、事業のヒントとなる情報提供、交換の場を作り上げていく必要があると感じた。

【今後予想される事業効果】

今回実施した講演の中で、トッパンフォームズ（株）が取組んだ「裁断紙幣」のリサイクルについては、当会で出た一案の『eco名刺』が作成され好評を得るなど、本事業を行い、情報交換の場を提供したことにより、業界を超えた様々な角度からの発案・アイデアが持ち寄られ、企業が当会の抱える高度な技術情報、素材やアイテムを採用し、商品開発、事業化に向けて取り組むことが期待される。

今後の事業としては、従来当会が監修し開発してきたホタテ貝殻を用いたバイオマス強化樹脂に、廃船から取り出したFRPを更に混合した成型物商品の開発を手掛けており、世界でも最先端の複合材料の技術を持つ研究者を招いた勉強会の企画を検討している。